

出陣式

2017年9月24日(日)

集まっていたいただいた方へのお礼
スタッフ 協力者へのお礼

1期4年間の振り返り

スカイ作戦 「住みたい 帰りたい 行ってみたい」まちづくり
に取り組んできた。

政治の基本姿勢として

現場主義（声を聞く 視察で学んだことを活かす）

情報公開（議会だよりアイズ、ホームページ）等に力を入れてきた

特に昨年発生した鳥取中部地震

倉吉にとっても 一人一人の暮らしにも大きく影響した

震災からの復旧・復興、震災以前よりも 暮らしよいまち倉吉とするため

「スカイアッププラン」として考え、議会でも取り上げてきた

○震災からの復旧・復興

・復興計画の着実な実行

・震災を風化させない取組（全市にわたる防災意識、訓練）

○子育て・教育のまちづくり

・保育、教育環境の整備 洋式トイレ37%~90% 非構造体の耐震化

・確かな学びの力をつける

○安心安全なまちづくり

○元気なまちづくり

・雇用の確保 企業誘致、地場産業の育成~フォローアップ（生活、住宅）

○魅力あふれるまちづくり

・中心市街地活性化 倉吉駅周辺なども含めて195ha

○開かれた市政

・自身の情報発信（ホームページ、議会だよりアイズ）

倉吉市議会だより「白壁」編集委員長 など

今回の選挙 2期目の大変厳しい選挙

市民の皆様にご訴えていく ここにおいでの方のお力をお願いしたい
支援の輪を広げていただきたい

これからの1週間 力強く選挙戦に向かっていきます

お聞き下さる皆様へのお礼

スカイアッププラン

（住みたい、帰りたい、行ってみたい）まち

①上井地区：倉吉、県中部の玄関口

倉吉駅は5000人の乗降客

鳥取短期大学・鳥取看護大学（来年には1000人の学生・先生）、高校、事業所（地区運動会プログラムでは100を超える事業所の協力がある）

地域

山陰自動車道の県内工事が進む これまでよりも交通が便利になる一東・西部へ流れる可能性がある。そうしないための魅力あるまちづくりが必要

東部西部、岡山北部から集まる玄関口へ

数年後には鳥取県立美術館がラグビー場の場所に出来る、伝統的建造物群保存地区なども含めて人が集まる玄関口へ

特に駅北～道路整備

山陰道からのアクセス（国道179号）

駅北通り線（駅から短大・看護大入り口）

八屋福庭線（駅から福庭・福庭東）

12街区 アナログ（駅北のスペース）のお店

駅南の商店の発展とあわせて、若者もお年寄りも集えるまち

②生活の中で 地域の中で気づいたことを活かしていく

・選挙 投票所＝天神町・大平町は河北中から河北小へ 期日前投票所の増（パープルタウン）

・学校の施設 河北中のグラウンド改修 河北小学校の仕切り設置

~~・除雪 洪水（情報発信）対策 台風15号と台風18号~~

・身近なこともできることがある～声を上げることが大切

③少子高齢化、地震等の災害による人口減

~~＝福祉予算の膨らみ 市の予算の3分の1を占め、年々増加傾向~~

知恵を出し汗を流して頑張っていく

天神町（海田南）の地元の皆様が私にとって大きな力

皆様の力強いご支援をお願いするとともに声かけをお願いしたい

しっかりと選挙戦を戦ってまいりますので、よろしくお願ひします。

通学、通勤の皆様へ

地元上井の候補者

①上井地区：倉吉、県中部の玄関口

5000人の乗降客

鳥取短期大学・鳥取看護大学（来年には1000人の学生・先生）、
高校、事業所（地区運動会プログラムでは100を超える事業所の協力がある）地域

倉吉の中でも、若者が多い地域

倉吉は国の支援を受けて、中心市街地活性化推進事業としてまちなかを整備しようとしている。その中に倉吉駅周辺も入った（打吹地区だけという話もあったが、議会の質問を重ねる中ではいることになった）

駅北の道路や駅北前の12街区の開発とあわせ駅南地区のまちづくりが進むことが必要

上井商工連盟には100を超える事業所がある。今以上に元気のでる地域づくり

学生とお話をする機会があった。買い物：コンビニ パン等を買う程度
ゆっくり食事をしたり カフェ ラウンドワンのような遊びが出来る場が欲しい。学生寮も看護大で2年、短大では1年しか入れない シェアハウスがあればいい

例えば 学生が魅力的だと考えるカフェ レストラン等をチャレンジショップでやって（現在は成徳地区しかない）みる

（県内4市の中で倉吉だけない）ループバスの拠点として駅近におく
駅南の商店街が駐車場がどんどん増えるだけでなく、若者もお年寄りも買い物しやすいコンパクトな町にしていく

人口減少が倉吉市においても進む中 活力ある地域づくりのモデルとしたい
上井が元気 倉吉が元気 中部が元気 鳥取県が元気

10月22日（日）は駅南地区で「ばえん祭」が行われる

鳥取のへそとして 大切な町が上井

※同趣旨の内容を28日 小田、古川沢、新田（旧JA上北条支所）、下古川、大塚

昨日の地区運動会の慰労
上北条小学校長時代のお礼

上北条地区の課題としてこれまで取り上げてきたこと

①道路、公共交通

- ・小田から向山に抜ける道
急カーブ 安全対策が必要
- ・バスの通行
上北条方面は不便 前館長が実施されたアンケートからも分かる

②子育て、教育の充実

- ・学校施設 洋式トイレ（37%から90% 教室棟は100%）
指定避難所として、お年寄りの方も含めて地域の方が使われる
校庭の整備 水はけ
- ・子育てするための施設
児童館・児童センターの設置
学校再編が進めば上北条小校区だけが取り残される

これまでの取組を踏まえ、皆さんの声を議会に届けていく

街頭演説（河北プラザ）

2017年9月26日（火）

選挙にかかる費用 約4000万（1人あたり800円）

倉吉市の総予算 おおざっぱに言うと500億（1人あたり100万円）

予算は議会が承認しないと使えない

河北プラザに買い物に来られている方は、上井地区だけでない。倉吉市と近隣の町の方が多いと思うので、このことを考えながら2つお話しする

一つは交通インフラに関して 二つ目は子育てに関して

①交通インフラ

南北を結ぶR313 東西を結ぶ山陰道 工事が進んでいる

便利さと危うさがある 鳥取・米子間が1時間ちょっととなる

県の中心、へそとなるか通過点となるか

鳥取県立美術館が数年後に開館 倉吉旧市街地の伝建群や北栄のコナン、三朝温泉なども含め滞在型の起点となるのがR179とR313 特にR179と山陰道との連結 湯梨浜町の方びご理解もいただいて県中部の発展のために進めたい

②子育てと教育

様々な課題があるが、子育てに関わることも大きなもの

倉吉市議会で 教育環境の整備 トイレの洋式化、落ち着いた保育・教育環境の整備などに取り組んだ トイレの洋式化 37%～90%（教室棟100%） 教室の間仕切り設置（関金小、河北小）

小6の授業にゲストティーチャーとして参加 「教室がうるさい」という声 上北条小学校長時代改善を経験 河北小ではこの夏休みに完成した

小学校教員、教育委員会、現在教育福祉常任委員会委員長としての経験

残念ながら 保育に関してはまだまだ不十分な状況もある

第3子の原則（所得）は県の事業とも重なり実現 しかし、第1子・第2子に関してははまだ 行政の答弁では他の県内3市と比べると高くないという表現、実際そうだが、子育て世代は鳥取や米子より近くの子育て状況に関心がある

また、保育士の配置状況 正規職員が半数を切って、臨時・嘱託の方が多い 特に未満児のお子さん（3人に一人配置）ではほぼ正規職員が配置できていない 市職員全体の中での配置なので簡単ではない（総人件費 指定管理等）改善にしっかり取り組んでいく

街頭演説（西倉工業団地）

2017年9月26日(火)

選挙にかかる費用 約4000万（1人あたり800円）

倉吉市の総予算 おおざっぱに言うと500億（1人あたり100万円）

予算は議会が承認しないと使えない

スカイアッププラン（鳥取中部地震以前よりも住みたい 帰りたい 行きたいと思える倉吉）として6つの項目を挙げている

その中の一つが元気なまちづくり 産業振興と雇用——企業誘致と地場産業育成支援を挙げている

人口増、社会増の部分は移住定住は農林業以上に企業に関わる面が大きい

最近の発表では 倉吉市では平成23年からの企業誘致による新規雇用が345人で計画を上回っている 地元企業でも105人と予定より多い

とてもよいこと しかし、いつまでも企業進出に関わる補助金が多い（県とあわせると全国でもトップ）ということにはならず、実際下げている

これからは、お出でいただいた、あるいは地元で頑張っていたいただいている企業により働きやすい、市としての方向性がしっかりしていると企業にも安心してもらえる。先進地視察などを通して考えていることは次のようなこと
今後市として推進していきたいのは、

- 1 働くにあたっての住まい 条件のよい住宅、寮などの提供
- 2 スキルアップのために大学等研究機関との連携の橋渡し・補助
- 3 地元の学校での人材育成と企業との連携（雇用ミスマッチを防ぐ）
- 4 市長を含め行政のトップセールスと生活面を含めたフォローアップ

倉吉に来てよかった、倉吉で働いてよかったと実感できるよう頑張っていきます

街頭演説（明倫地区）

2017年9月27日（水）

選挙にかかる費用 約4000万（1人あたり800円）

倉吉市の総予算 おおざっぱに言うと500億（1人あたり100万円）

予算は議会が承認しないと使えない

明倫地区との関わり

余戸谷町で生まれ育った こどもの頃の原風景は小鴨川から望む大山

明倫小学校の校長として約5年努めた

明倫小での総合的な学習・ふるさと学習のテーマ：福祉のまち、古い町並み

スカイアッププラン（鳥取中部地震以前よりも住みたい 帰りたい 行きたいと思える倉吉）として6つの項目を挙げている

その中から「安心安全なまちづくり」「魅力あふれるまちづくり」についてお話しする

1 安心安全なまちづくり

高齢者率が市内でも高い地区 取組の先進地

現在 教育福祉常任委員会の委員長を務めている

福祉の充実 予算の中でも3分の1以上、毎年増えている 500億

年をとっても元気 健康寿命を延ばす お金もかからない

認知症対策 介護予防など（脳卒中 骨折などのけが一寝たきりにならない）など

2 魅力あるまちづくり

明倫地区は、歴史と伝統ある町並み

せかいいちうつくしいぼくの村（えほんはともだち）の作者、小林豊さんのお話では、「私は、鍛冶町、明倫地区の裏通りの風情が好き」と言っておられた。

鉢屋川、万国泉、小川家、ヒシ倉醤油、円形校舎等素晴らしい資産がある

伝建群～続くまちづくり。全国には100以上の伝建群（倉敷、神戸北野）があるが、どこにも負けない魅力がある

歴史的まちづくり（生活や文化なども含めた国の取組）を活かしていきたい

街頭演説（パープルタウン）

2017年9月27日(水)

選挙にかかる費用 約4000万（1人あたり800円）

倉吉市の総予算 おおざっぱに言うと500億（1人あたり100万円）

予算は議会が承認しないと使えない

スカイアッププラン（鳥取中部地震以前よりも住みたい 帰りたい 行きたいと思える倉吉）として6つの項目 「震災からの復旧・復興、子育て・教育のまちづくり、安心安全なまちづくり、元気な町づくり、魅力あるまちづくり、開かれた市政」を挙げている

その中から「開かれた市政・開かれた議会」について
開かれた市政、開かれた議会の目的は、市民の皆さんに関心を持っていただき、参加・参画していこうとするため

高額なお金、税金を使うのに関心がないでは残念

今回の選挙でも、投票率が下がることが心配

選挙公報 届きました？ 封筒の中を開いてしっかり見て下さい。

しかし、21人がそれぞれ書いていることを見定めることはなかなか難しい
現職の議員は今年の3月議会、6月議会での様子は議会日より「白壁」にのっている。わたしはその議会日より編集委員会としてつとめているが、多くの議員の活動状況を12頁の中に入れていくのは難しかった

藤井たかひろは、開かれた市政・開かれた議会としたいと

議会日より「アイズ」を発行し、残念ながら市全体ということにはならないがお届けしている。

政務活動費を活用して（政務活動費のこと：温泉に行ったり、絵画を買ったりといったことが話題となったが、きちんと議会報告をしたり、視察に行き、議会活動に活かしていくのが本筋）

また、ホームページも開設している。選挙公報にはアドレスを入れているが、「藤井たかひろ」でも検索可能

私のことをいったが、他の候補も捨ておられるかもしれないので、しっかりと探して、有効に活用し、判断していただきたい。

スカイアッププラン（鳥取中部地震以前よりも住みたい 帰りたい 行きたいと思える倉吉）として「震災からの復旧・復興、子育て・教育のまちづくり、安心安全なまちづくり、元気なまちづくり、魅力あるまちづくり、開かれた市政」の6つの項目を挙げている
その中に 魅力あふれるまちづくり 開かれた市政

1 魅力あるまちづくり

成徳地区は、歴史と伝統ある町並み 重要伝統的建造物群保存地区
伝建群～全国には115の伝建群（倉敷、神戸北野 9.3ha）木曾、郡上八幡などを視察、見学した

倉吉 他に負けない魅力をもっている

①歴史的まちづくり（生活や文化なども含めた国の取組）を活かしていきたい 重要伝統的建造物群保存地区内の土地の区域及びその周辺の土地の区域であること 打吹公園 長谷の観音市 倉吉博物館など

例えば 電線の地中化

②空き家・空き地対策～活用

③中心市街地の活性化～地域経済の活性化、循環

2 「開かれた市政・議会」について

開かれた市政・議会の目的は、市民の皆さんに関心を持っていただくこと
高額なお金、税金を使うのに関心がないでは残念
選挙公報 封筒の中を開いてしっかり見て下さい。

しかし、21人がそれぞれ書いていることを見定めることはなかなか難しい
現職の議員は今年の3月議会、6月議会での様子は議会だより「白壁」にのっている。わたしはその議会だより編集委員会としてつとめているが、多くの議員の活動状況を12頁の中に入れていくのは難しかった

藤井たかひろは、開かれた市政・開かれた議会としたいと

政務活動費を活用して議会だより「アイズ」を発行し、お届けしている。

政務活動費のこと

また、ホームページも開設している。選挙公報にはアドレスを入れているが、「藤井たかひろ」でも検索可能

私のことをいったが、他の候補も捨ておられるかもしれないので、しっかりと探して、有効に活用していただきたい。

街頭演説（西福守町、サンマート、ラムー倉吉南店、マルイ上井店）

2017年9月29日（金）

スカイアッププラン（鳥取中部地震以前よりも住みたい 帰りたい 行きたいと思える倉吉）として

現場主義 鳥取中部地震、大雪発生時の動き

6つの項目 「震災からの復旧・復興（復興計画の着実な実行）、子育て・教育のまちづくり、安心安全なまちづくり（道路・住宅の整備、安心して長生きできるバリアフリーの町）、元気な町づくり（6次産業化の推進、企業誘致と地場産業の育成支援による雇用確保）、魅力あるまちづくり（中心市街地の活性化、レトロ&クールなど観光資源の魅力アップ）、開かれた市政」を挙げている

その中から「子育て教育のまちづくり」特に教育についてと開かれた市政・議会についてお話しする。

1 教育の充実について

こどもは地域の将来を担う宝 学校教育は集団生活を通して様々な学びをする。よい学びをするためにはハード面・ソフト面両面での環境整備が必要。この4年間で力を入れて取り組んだこと

○トイレの洋式化、37%～90%（教室棟100%）

指定避難所として、お年寄りの方も含めて地域の方が使われる

○教室の間仕切り設置（関金小、河北小）境の整備などに取り組んだ

○河北中学校のグランド整備

○国語算数診断テストの小1から小6までの市費による実施

○金管バンド指導者への手当

小学校教員（明倫小学校、上北条小学校での校長経験）、倉吉市教育委員会約6年間勤務、現在教育福祉常任委員会委員長としての経験にもとづくもの今後の取組～

●地震に強い非構造体（窓ガラス、壁など）への推進

グランド配水の改良（上北条小、灘手小、西中など）

●確かな学びの力をつけるための教員の資質アップと事務軽減（しっかりとこどもと向き合える体制づくり）

2 「開かれた市政・議会」について

開かれた市政・議会の目的は、市民の皆さんに関心を持っていただくこと

現職の議員は今年の3月議会、6月議会での様子は議会だより「白壁」にのっている。議会だより「白壁」の編集委員会としてつとめているが、多くの議員の活動状況を12頁の中に入れていくのは難しかった

藤井たかひろは、開かれた市政・開かれた議会としたいと

政務活動費を活用して議会だより「アイズ」を発行し、お届けしている。

政務活動費のこと 視察、報告など

また、ホームページも開設している。選挙公報にはアドレスを入れているが、「藤井たかひろ」でも検索可能

選挙、政治に高額なお金、これは議員の責任でもあるが税金を使うのに関心がないでは残念、

選挙にかかる費用 約4000万（1人あたり800円）

倉吉市の総予算 おおざっぱに言うと500億（1人あたり100万円）

予算は議会が承認しないと使えない

現職は議員として何をしてきたか、そしてこれからどうしていくのかの道筋を示すことが大事。21人の候補者の実績や訴えをよく見て、しっかりと判断して下さい。

選挙情勢 新聞報道では、「特定の組織などを持つ候補以外は団子状態」私も団子の一人です。ご当地名物「公園団子」のように、おいしん団子だと思って下さったら、ぜひ、投票に行って「藤井たかひろ」と投票して下さい。大変厳しい、苦しい選挙となっています。藤井たかひろに変わらぬご支援よろしくお願いいたします。